

教育・文化

市のスポーツ振興と市民総合体育館の今後の運営について

岩本博子議員(生ネ) ①スポーツ振興における市の役割は。

②市民総合体育館に指定管理者制度を導入するメリットは。

教育長 ①地域のスポーツ活動団体を体育行政の担い手とする新たな仕組みづくり、体育施設の環境整備と効率的な運営、市民ニーズの高い健康づくり事業の推進など、多くの市民が参加しやすい事業の展開が重要な役割と考える。

②施設の利便性向上や市民ニーズに即した事業展開が期待できるとともに、経費の効率化も見込めると考える。

小・中学生の体力向上の必要性はあるか

常松大介議員(フオ) ①小・中学生の体力について、全国や東京都平均との比較は。

②比較結果をどのように受けとめているか。また今後どのような対策が必要か。

市民スポーツまつり



教育長 ①本年度実施した体力テスト8種目の平均で男子は都平均を上回ったが、全国平均は下回った。女子は都平均、全国平均ともに下回った。

②児童・生徒の体力向上は重要な課題ととらえ、運動・スポーツ活動の充実、体力テストの実施等を行っていく。また、義務教育9年間を通した取り組みを検討したい。

(仮称)小平市教育振興基本計画の策定について

宮寺賢一議員(政和) ①この計画の策定意義と小平市第三次長期総合計画との関係は。

②計画に盛り込むべき施策の策定に当たり、よりどころとなるプランやビジョンは。

教育長 ①この計画は市の実情に応じた教育の振興策に関する基本的な計画で、小平市第三次長期総合計画の個別計画として位置づけられる。

②教育基本法等を参考にするとともに、市の教育の現状や課題、地域の特性等を踏まえ、市の既存の計画、庁内関係課や外部関係機関等との連携、整合性を図ることに留意していく。

都市計画道路整備で減少する十二小敷地の代替地取得について

宮寺賢一議員(政和) ①この事業により給食室への食材搬入車両の搬入スペース、及び花壇や運動場の一部が道路予定地になるがどう対応するか。

②給食施設へのスムーズなアクセス等を考慮し、敷地減少分

を他に取得する必要があると思いが見解は。

教育長 ①搬入車両スペースの確保は最優先課題と認識している。今後、花壇等の移設も含め検討していく。

②隣接地の動向も注視し、必要に応じて検討したい。

小学校給食は直営を堅持せよ

木村まゆみ議員(共産) ①昨年7月に提出された小学校給食あり方検討委員会の報告書を精査すると民間に委託するとの結論にならない。委託を断念するか、さらに時間をかけ市民意見を聴取し検討すべきではないか。

②派遣会社からの栄養士受け入れの経過と今後の状況は。

教育長 ①現在、検討委員会の意見を参考に基本方針を検討している。今後、素案に対する市民意見公募手続きを経て決定する予定である。

②昨年4月に派遣栄養士を配置したのは嘱託職員の応募者数が募集人員に満たなかったためである。現在は1人を臨時職員で対応している。

若者と政治をつなぐために

平野ひろみ議員(生ネ) ①小学生の議場見学に議会傍聴を組み込むことはできないか。

②子ども議会の取り組みについての考えは。

教育長 ①議場見学は社会科見学の一環として行っている。公共施設を含め多くの施設を見学することで市についての理解を深めることが目的で、議会傍聴への取り組みには別の位置づけ

が必要である。

②すべての児童・生徒が参加することや、政治の学習に予定する時間内に組み込むことは困難であるため、現段階では想定していない。

伝統文化としての祭り等の位置づけ及び継承と観光行政について

佐野郁夫議員(政和) ①神社の祭りや盆踊りの日時等をホームページ等で紹介できないか。

②多摩26市中13市に観光協会があるが設立の考えは。

市長 ①市内で行われる伝統行事等で広く市民が楽しめ参加できるものは検討したい。

②観光協会の役割や意義は理解しているが、市が牽引するのではなく、意欲ある民間団体等が中心となって働きかける形が将来性や発展性という視点からも望ましいと考えている。現在、小平市グリーンロード推進協議会が観光事業を担っているが、今後も設立については研究していきたい。

市民に利用しやすい図書館を目指して

石毛航太郎議員(フオ) ①開館時間を午後8時まで延長した場合の費用は。

②開館時間の延長は考えているか。

教育長 ①中央図書館を月曜日から木曜日、地区図書館を火曜日と水曜日に午後8時まで開館した場合、光熱水費の増額が年間でおおむね80万円見込まれるほか、職員の経費等の増も考えられる。

②現段階では考えていないが、各地域の実情を踏まえた効率的、

効果的な運営に向けた研究課題としたい。

市立図書館の図書にICタグの導入をすべき

滝口幸一議員(フオ) ICタグを導入する自治体が増加している。盗難防止、コスト削減等さまざまなメリットがあり、市民サービスの向上につながるかと考えるが、検討状況は。

教育長 建てかえ後の仲町図書館で予定している。昨年パブリックコメントを実施し建てかえ方針を決定したが、利便性の向上を図るためICタグを導入し、館内どこでも蔵書を閲覧できることとした。

仲町図書館



けることができる住宅のモデルと評価している。市の介護保険事業計画で計画している施設整備でも高齢者専用賃貸住宅等の併設検討を提案しており、幅広く機会をとらえ対応したい。

②高齢者等に提供される福祉有償運送を支援し、移動手段の確保に努めている。

介護する家族を支えるしくみをつくらう

日向美砂子議員(生ネ) ①家族介護から生じる悩みや負担等の相談先はあるか。

②地域包括支援センターは土日も開けるべきでは。

市長 ①家族も参加する介護保険のケアプラン作成時の会議の中や地域包括支援センターの総合相談支援事業、入院先の医療ソーシャルワーカー等、家族介護者の置かれた状況に沿った相談体制を整備している。

②現在月曜日から土曜日まで開所し、緊急時には夜間・休日でも電話対応をしているので考えていないが、今後はニーズを把握し対応を検討したい。

認知症高齢者の支援に認知症サポーターをいかに

平野ひろみ議員(生ネ) ①認知症サポーター養成講座の今後の展開は。

②今後は認知症サポーターの活動を広げ、地域資源のネットワークをつくる必要があると思いが見解は。

市長 ①今後は高齢クラブ等にも声をかけ、元気な高齢者が認知症を理解し、認知症の方やその家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせるま

ちづくりを進めていく。

②認知症サポーターは自分のできる範囲で認知症の方やその家族を応援する役割を担っているため、現在は考えていない。

無料・低額診療事業の積極的なPR、活用を図ってほしい

西 克彦議員(共産) ①事業のPRはどうしているか。

②認定病院側の持ち出しはあ

③ホームページ等で活用呼びかけを強めてほしいがどうか。

市長 ①事業の広報は認定病院の取り組みとしている。生活が困難し医療を受けられない方には、市や社会福祉協議会等の相談窓口を通して必要な支援事業を案内している。

②医療費は認定病院の負担になっていると聞いている。

③提言を踏まえ対応に努める。

医療扶助は適正に運用されているか

虹川 浩議員(公明) ①複数の科を受診し、睡眠薬を多量に処方された場合の扱いは。

②頻りに薬局に薬局し、多量の風邪薬や咳どめをもらうことはできるか。

市長 ①担当ケースワーカーの日常的な指導等のほか、診療報酬明細書をもとに通院状況の把握に努めており、その中で不適正な受診と思われるものがあつた場合は嘱託医と協議し、適正な受診の指導に努めている。

②調剤は医師の処方に基づいており、頻りに薬局に行くことで多量の薬を得ることはできないと認識している。

障がいのある子どもたちに豊かな放課後を

岩本博子議員(生ネ) ①障害児の放課後活動にどのような支援を行っているか。

②学童保育における障害児枠拡大の検討状況は。

市長 ①放課後や夏休みに訓練事業を実施しているゆうやけ子どもクラブやあすなろの家等に運営費を補助している。また教育委員会が安心・安全な居場所の提供等を目的として行う放課後子ども教室では、保護者等の支援により障害児も参加している小学校地区がある。

②現在、2人までの固定枠を弾力化し、3人以上の受け入れも可能なクラブを設けられないか調整している。

ゆうやけ子どもクラブで過ごす子どもたち

